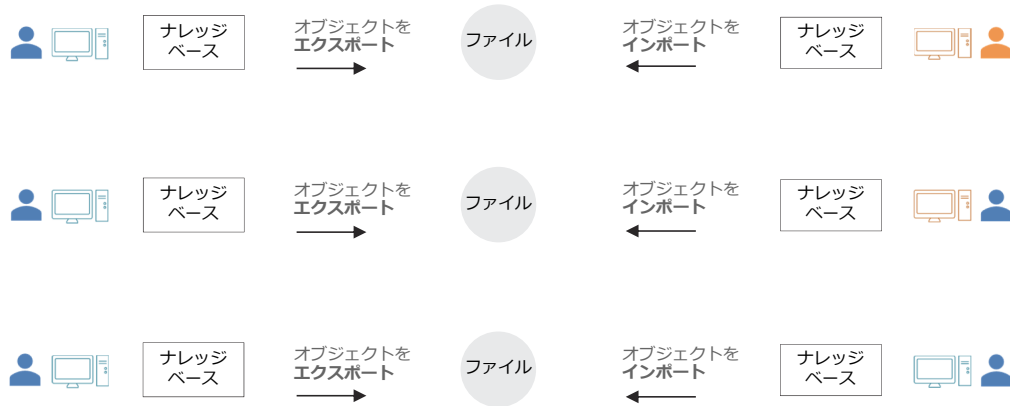


GeneXus オブジェクトの エクスポートとインポート



GeneXus でプロジェクトを進めるとき、開発者は頻繁にオブジェクトをナレッジベースからエクスポートしたり、第三者やチームメンバーがエクスポートしたオブジェクトをインポートすることが必要になります。

オブジェクトのエクスポートとインポート



たとえば、開発者間でオブジェクトをやり取りし、非常にシンプルな方法でそれらのオブジェクトを共有したり、統合したりすることが必要になる場合があります。

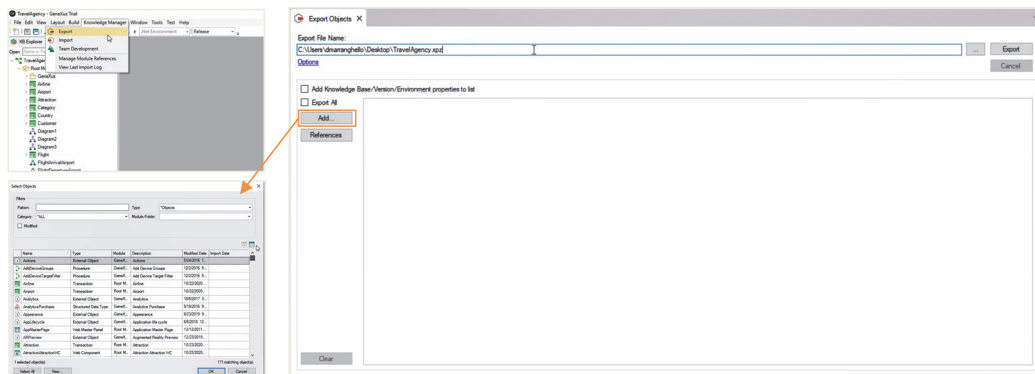
また、ある PC でプロジェクトを開始し、それを別の PC で続けることになったが GeneXus Server がない場合にも、この作業が必要になるかもしれません。

異なる PC 間でなくても、この機能を使用して自分が生成したオブジェクトをバックアップしておけば、自分の PC にインポートしたり、別のプロジェクトでもナレッジベースからインポートしたりできます。

一般的に、変更管理などを行って同じプロジェクトを管理する場合は GeneXus Server を使用しますが、いくつかのオブジェクトをある場所から別の場所にコピーするなど、よりシンプルな方法が必要になる場合もあります。そうした場合に、エクスポートとインポートを実行できる必要があります。

GeneXus でのこの機能を見てみましょう。

オブジェクトのエクスポートとインポート



ナレッジベースのオブジェクトをローカルファイルにエクスポートするとします。

ナレッジマネージャを選択し、[エクスポート] を選択します。

ファイルを生成する場所のパスを選択し、名前を編集します。このタイプのファイルは XPZ という拡張子で生成されます。

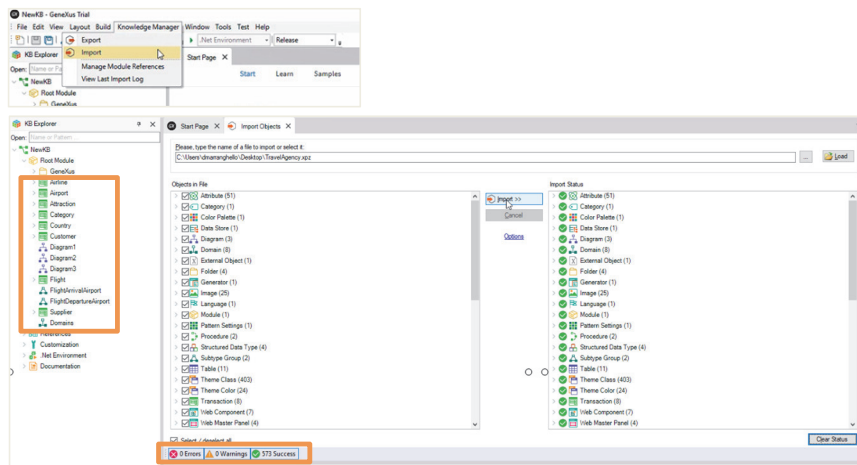
これまでに生成したオブジェクトをすべてエクスポートする場合は、[すべてエクスポート] を選択し、[エクスポート] を選択します。

ナレッジベースからオブジェクトを選んでエクスポートすることもできます。選択する場合は [追加] をクリックします。クリックすると、ナレッジベース内に存在する、自分で作成したオブジェクトと、GeneXus で自動的に生成されたオブジェクトの両方がすべて一覧表示されるので、必要なオブジェクトを 1 つまたは複数選択できます。

また、KB エクスプローラーからオブジェクトをドラッグして選択することもできます。

この例では [すべてエクスポート] を選択します。指定した場所に XPZ ファイルが生成されます。

オブジェクトのエクスポートとインポート



次に、ナレッジベースを作成したばかりの別のコンピュータで、デスクトップにファイルがコピーされているとします。ここで、XPZ をインポートして、別のナレッジベースからエクスポートされたすべてのオブジェクトを新しいナレッジベースに取得したいとします。

これを行うには、ナレッジマネージャを選択し、[インポート] を選択します。

XPZ ファイルを検索して選択します。ここに示すように、含まれているすべてのオブジェクトがウィンドウに表示されます。既定ですべてのオブジェクトが選択されていますが、インポートするオブジェクトとインポートしないオブジェクトを選択できます。

[インポート] を選択すると、ナレッジベースへのオブジェクトのインポートが開始されます。

スライド下部の枠では、インポートが正常に実行されたか、それともエラーや警告が発生したかどうかを示しています。

新しいナレッジベースには、インポートしたすべてのオブジェクトが表示されます。ここでは、GeneXus からオブジェクトを簡単にエクスポートおよびインポートできることをお見せしました。

オブジェクトのインポートとエクスポートには、ほかにも構成可能なオプションがありますが、ここでは紹介しません。詳しくは、Wiki でナレッジマネージャのインポートとエクスポートに関する記事を参照してください。